

2016年9月期 第2四半期

連結決算説明資料

(2015年10月-2016年3月)

株式会社 FPG

(code:7148)

東証1部



2016年4月

業績ハイライト	P3
レビュー	P4
トピックス	P5～6
タックス・リース・アレンジメント事業の状況	P8～9
出資金に含まれる手数料について	P10
損益計算書	P12
貸借対照表	P13
2016年9月期 業績予想	P15
2016年9月期 配当予想	P16
中期的な経営戦略	P18～21
事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み	P22

業績の総括



◆ タックス・リース・アレンジメント事業は好調継続、その他事業も貢献

第1四半期に引き続き、業績好調な投資家(顧客)からの需要が強く推移した。また、高いリピーター率の維持および販売ネットワークの拡大による新規顧客の獲得により、タックス・リース・アレンジメント事業は好調を継続。オペレーティング・リース事業の出資金販売額は、565.8億円(前年同期比19.2%増)に増加。その他事業において、保険事業、証券事業等が競争力のある商品により、売上を拡大。その結果、その他事業を含めた売上高・利益は、前年同期比、増収増益を達成した。

【億円】	2015年9月期 第2四半期	2016年9月期 第2四半期	増減	増減率	2016年9月期 通期予想 (4/28修正後)	通期予想 進捗率	2015年9月期 通期実績
売上高	82.4	105.9	23.5	28.5%	193.8	54.7%	153.1
営業利益	58.7	71.0	12.2	20.9%	125.4	56.6%	100.8
経常利益	58.4	71.2	12.7	21.9%	126.6	56.3%	100.5
親会社株主に 帰属する (四半期) 当期純利益	37.0	45.4	8.4	22.8%	80.4	56.5%	63.4
オペレーティング・ リース事業 組成金額	1,330.8	1,819.9	489.1	36.8%	3,600.0	50.6%	2,973.4
出資金 販売額	474.6	565.8	91.1	19.2%	1,115.8	50.7%	841.7

▶ 主なトピックス

1月	・業績予想の上方修正
2月	・個人投資家向けIRセミナーの実施 ・FPG信託の信託機能を活用した不動産小口運用新商品組成のため渋谷駅前ビル取得
3月	・機関投資家向け大規模IRカンファレンス（証券会社主催）参加 ・航空機案件拡張に備えたコミットメントライン契約の締結

▶ トピックス - タックス・リース・アレンジメント事業

組成面

◆ 案件組成サポートを行う海外関連会社との連携強化

- ・FPG AIM ⇒ 船舶、海上輸送用コンテナのリース案件の約90%は同社の紹介。国際的な海運会社1社を新規賃借人として船舶リース案件を組成。航空機案件の開拓も進める。
- ・FPG Amentum ⇒ 取締役1名を同社所在地のアイルランドに派遣。さらなる連携強化を図る。同社との連携により、大口投資家のニーズに応える航空機案件を組成。

販売面

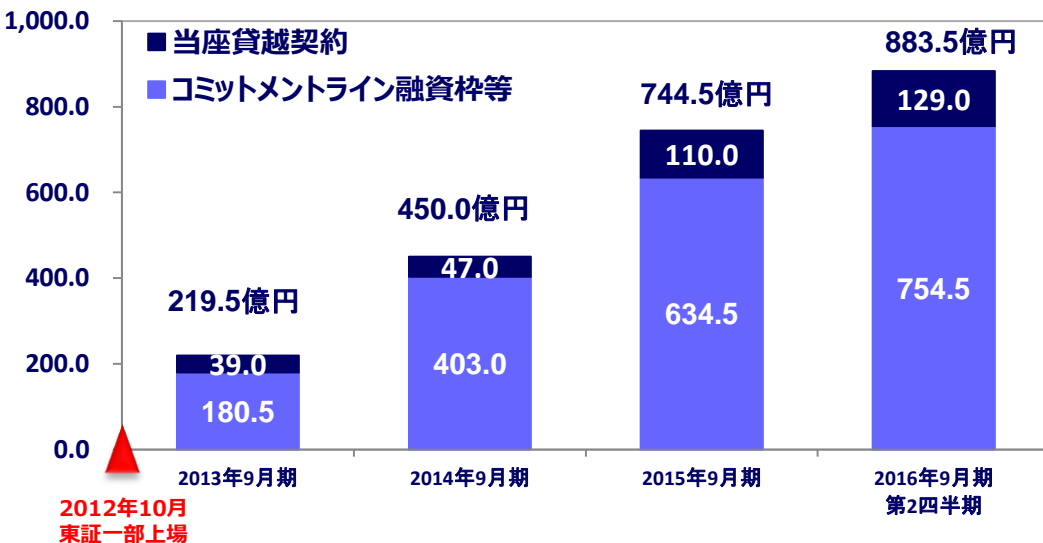
◆ 金融機関（地銀、証券会社等）からの紹介拡大（→P6「販売ネットワークの拡大」参照）

マイナス金利導入以降、金融機関のフィービジネスへの注力により、紹介件数が拡大

◆ 札幌支店、金沢支店、岡山支店の開設準備

昨年4月に開設した3支店も好調に推移、より一層地域に密着した営業活動の実現を目指す

資金調達枠は883.5億円と、引続き拡大傾向



東証一部上場前の資金調達枠は100億円に満たないレベルであったが、東証一部上場（2012年10月）により、金融機関からの信用力が飛躍的に向上。また、東証一部上場前の取引銀行数は27行であったが、当四半期末には、58行へと拡大。航空機案件拡大、不動産新商品等の資金需要へも対応。

格付取得による資金調達手段の多様化・安定化

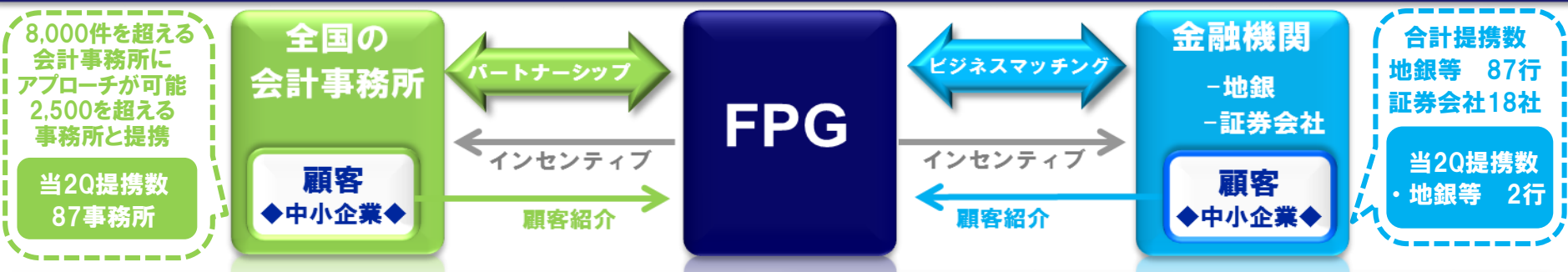
（株）日本格付研究所（JCR）より格付取得

長期発行体格付	短期発行体格付	国内CP格付 (コマーシャルペーパー)
BBB-	J-2	J-2 発行限度額50億円
CP発行残高 (2016年3月末日)		45億円

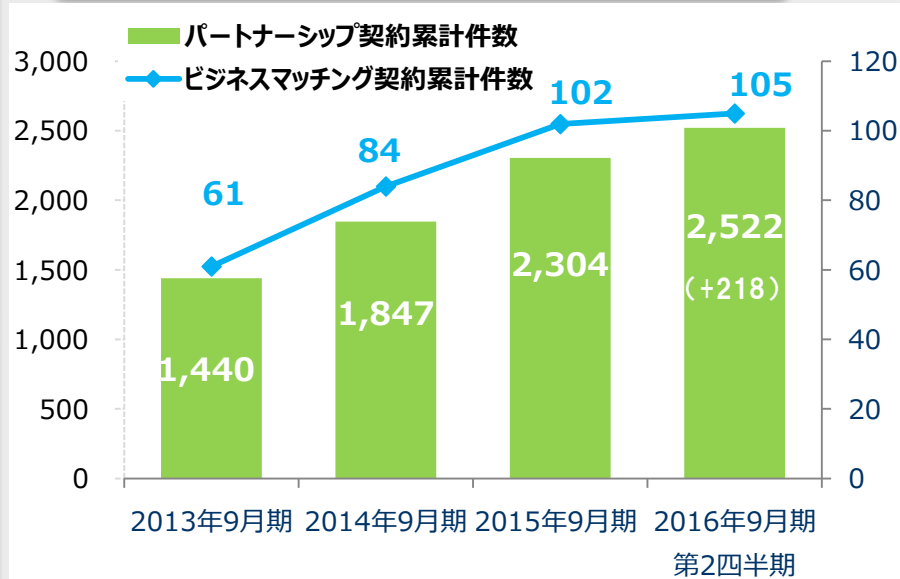
第三者機関から客観的な評価を得ることで、経営の透明性、財務の健全性を高めるとともに、資金調達手段の多様化・安定化を図る。

トピックス - 販売ネットワークの拡大

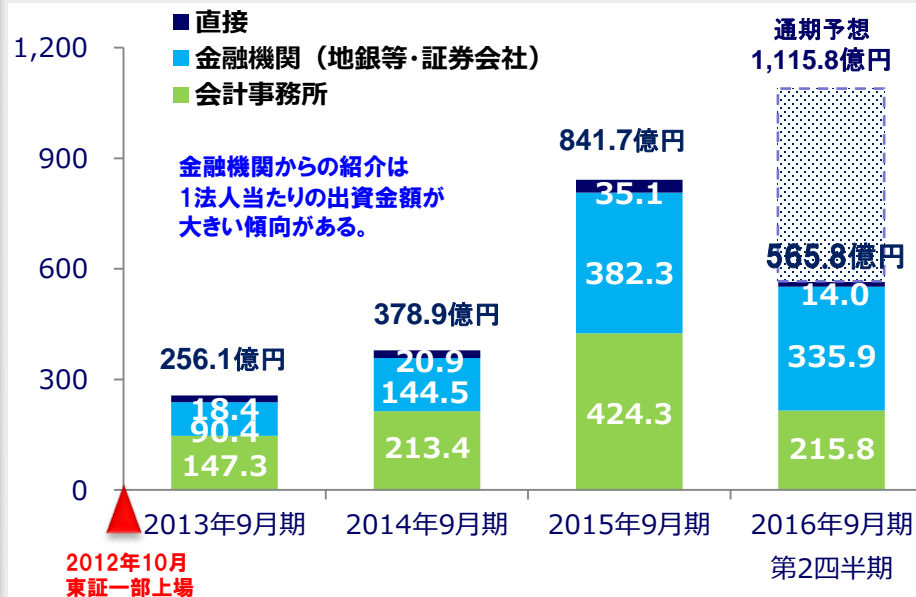
全国の会計事務所及び金融機関との提携拡大（前期末比 218事務所、地銀3行増）
証券会社、地銀を中心とした金融機関からの投資家（顧客）の紹介が増加



会計事務所とのパートナーシップ契約件数と
金融機関とのビジネスマッチング契約件数



ネットワーク別出資金販売額の推移



營業概況



■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

◆ 積極的な案件組成と、好調な販売環境により、業績が伸張

組成面

案件組成のサポートを行う関連会社との連携強化により、当社に独占的に紹介されるリース案件が増加。資金調達枠の拡大を背景に、同一貸借人から複数のリース案件を受注する等、積極的な案件組成を行った結果、オペレーティング・リース事業組成金額は、前年同期比36.8%増の1,819.9億円となった。

販売面

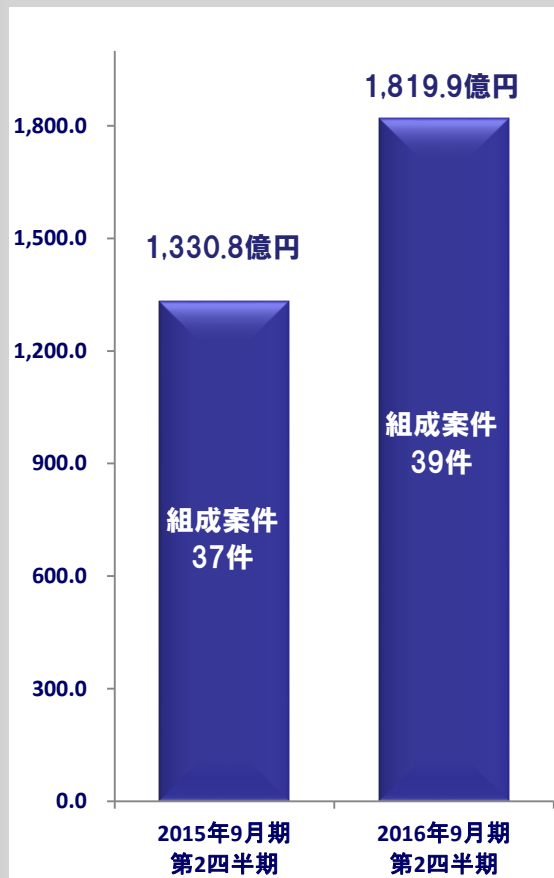
第1四半期に引き続き、業績好調な投資家(顧客)からの需要が強く推移したほか、事業承継目的による大口投資ニーズも顕在。販売ネットワークの拡大および営業担当者の増員により、高いリピーター率の維持と新規顧客の獲得を行った結果、出資金販売額は前年同期比19.2%増の565.8億円となった。

(百万円)		2015年9月期 第2四半期	2016年9月期 第2四半期	増減	増減率	2016年9月期 通期予想 (4/28修正後)	通期予想 進捗率	2015年9月期 通期実績
オペレーティング・リース事業 組成金額		1,330.8	1,819.9	489.1	36.8%	3,600.0	50.6%	2,973.4
出資金 販売額		474.6	565.8	91.1	19.2%	1,115.8	50.7%	841.7
	船舶	221.0	235.5	14.5	6.6%			439.5
	コンテナ	99.0	125.1	26.0	26.3%			167.1
	航空機	154.5	205.0	50.5	32.7%			235.0
購入社数(累計)		786	1,082	296	37.7%			1,653
タックス・リース・ アレンジメント事業 売上高		78.2	97.5	19.2	24.7%	175.3	55.6%	141.2
手数料(売上高/出資金販売額)		16.5%	17.2%	0.7ポイント	—			16.8%

■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

オペレーティング・リース事業 組成金額

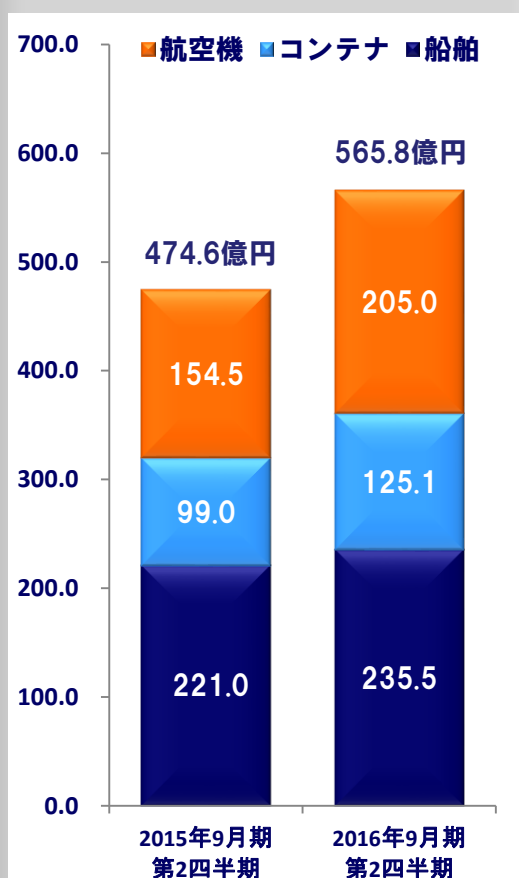
対前年同期比 36.8%増



* 案件数に関してはSPCの数をカウント

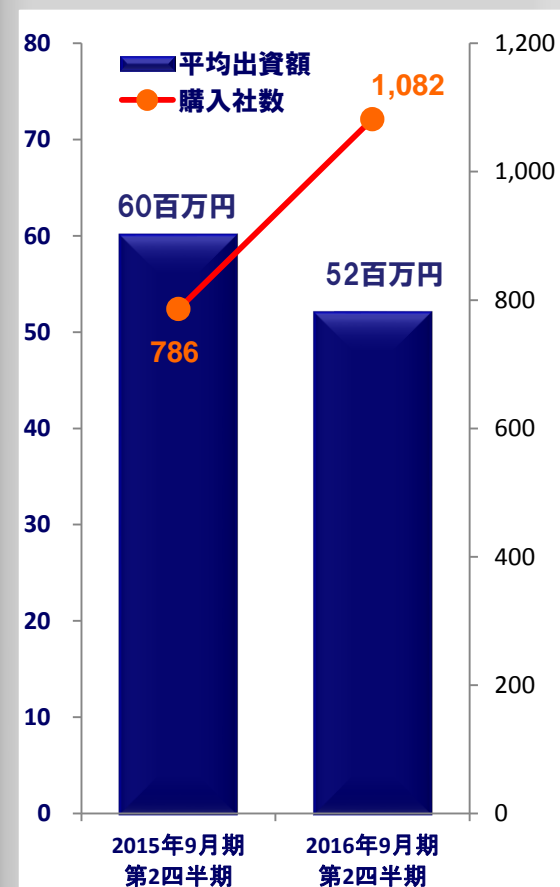
リース物件別出資金販売額

対前年同期比 19.2%増

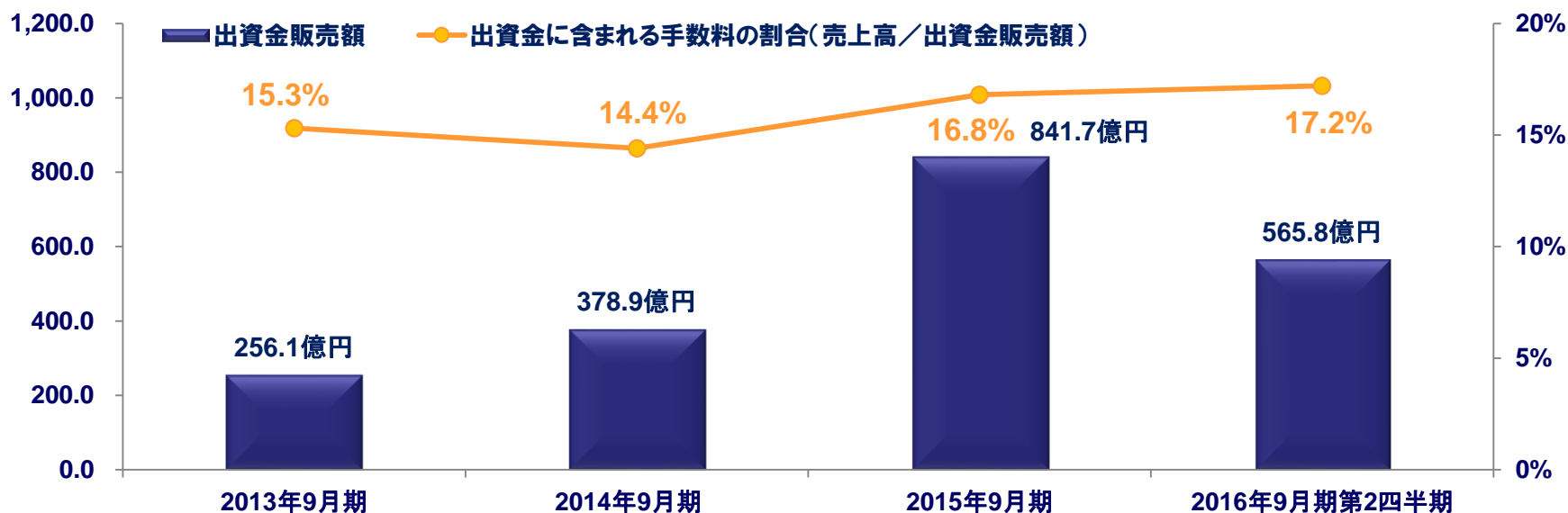


購入社数 (累計)/平均出資額

対前年同期比
296社増 / 8百万円減



■ 出資金に含まれる手数料について



(億円)	2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期 第2四半期
タックス・リース・アレンジメント 事業売上高	37.4	54.4	141.2	97.5
出資金販売額	256.1	378.9	841.7	565.8
出資金に含まれる手数料の割合 (売上高/出資金販売額)	15.3%	14.4%	16.8%	17.2%

出資金に含まれる手数料の推移

旺盛な投資家需要に応えるため、積極的に案件を組成。出資金に含まれる手数料については、直近数期において概ね14~15%台に推移しており、他の金融商品に比べ、高い収益性を維持している。なお、第1四半期に高収益案件を販売したことにより、第2四半期(累計)の利益率は17.2%となった。第3四半期以降は例年と同様の水準になる予定。

財務ハイライト



■ 損益計算書

(億円)	2015年 第2四半期	2016年 第2四半期	増減
売上高	82.4 ①	105.9	23.5
売上原価	10.7 ②	13.0	2.2
売上総利益	71.6	92.9	21.2
販売管理費	12.9 ③	21.9	8.9
営業利益	58.7	71.0	12.2
営業外収益	4.1 ④	5.1	1.0
営業外費用	4.3	4.9	0.5
経常利益	58.4	71.2	12.7
特別損失	0.0 ⑤	1.5	1.5
税引前四半期純利益	58.4	69.7	11.2
法人税等合計	21.4	24.0	2.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37.0	45.4	8.4

① 売上高 105.9億円 (+23.5億円) 単位:百万円

タックス・リース・アレンジメント事業	9,752 (+ 1,929)
不動産関連事業	142 (+ 45)
保険仲立人事業	223 (+ 52)
証券事業	103 (+ 18)
航空機投資管理サービス (Amentum)	315 (-)

② 売上原価 13.0億円 (+2.2億円) 単位:百万円

案件組成コスト	172 (+ 27)
顧客紹介者への支払手数料	1,123 (+ 195)

→タックス・リース・アレンジメント事業の売上が好調だったことから、顧客紹介に係る手数料が増加。

③ 販売管理費 21.9億円 (+8.9億円) 単位:百万円

人件費	1,146 (+ 505)
-----	---------------

→主に、積極的な人材採用、連結子会社の増加により、人件費、その他の費用が増加。
*連結従業員数 前年同期末118名 → 当期末175名 (+57)

④ 営業外収益 5.1億円 (+1.0億円)

リース開始後に商品出資金を販売した場合、経過分の利息(立替利息)を投資家(顧客)から徴収し、受取利息として計上しているが、出資金販売額の増加に伴い、立替利息が増加。その他、業容拡大に伴う関連会社の持分法投資利益が増加。

⑤ 特別損失 1.5億円 (+1.5億円)

FPG投資顧問の事業計画を考慮し、のれんを減損。

貸借対照表

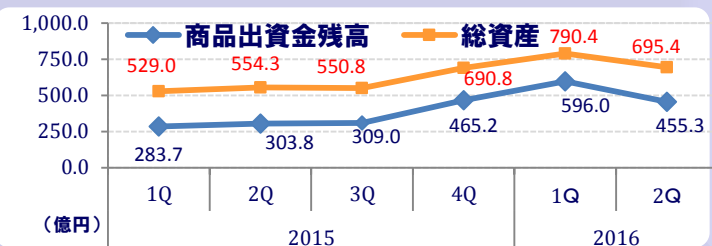
資産 (億円)	2015年9月期末	2016年9月期末 第2四半期末	増減
流動資産	660.3	666.6	6.3
現金及び預金	73.8	96.6	22.8
商品出資金	465.2	455.3	△9.9
組成用不動産	15.7	38.4	22.7
その他 流動資産	105.5	76.1	△29.3
固定資産	29.9	28.4	△1.5
資産合計	690.8	695.4	4.5

負債 (億円)	2015年9月期末	2016年9月期末 第2四半期末	増減
流動負債	500.3	512.7	12.4
短期借入金等	294.2	373.6	79.4
前受金	73.8	59.8	△13.9
その他 流動負債	132.2	79.1	△53.0
固定負債	28.8	34.2	5.4
長期借入金・社債	26.6	32.0	5.4
その他 固定負債	2.1	2.1	△0.0
負債合計	529.1	546.9	17.8

純資産 (億円)	2015年9月期末	2016年9月期末 第2四半期末	増減
資本金	30.8	30.8	0.0
資本剰余金	30.3	30.3	0.0
利益剰余金	99.5	121.8	22.3
自己株式	△0.0	△35.2	△35.2
為替換算調整勘定	0.1	△0.4	△0.5
純資産合計	161.7	148.4	△13.2
負債純資産合計	690.8	695.4	4.5

1 商品出資金 455.3億円 (△ 9.9億円)
 旺盛な投資家需要により出資金の販売を進めたが、積極的に案件組成を行い、商品出資金については第3四半期以降販売予定の在庫を高いレベルで維持。

商品出資金の取得資金は主にコミットメントライン融資枠等の短期借入金で調達(一時的な立替取得)



2 組成用不動産 38.4億円 (+ 22.7億円)
 信託機能を活用した新たな不動産小口運用商品組成のための不動産を取得。4月発売開始。

3 その他 流動資産 76.1億円 (△ 29.3億円)
その他 流動負債 79.1億円 (△ 53.0億円)
 証券事業の通貨関連店頭デリバティブ商品の提供に際し、顧客とデリバティブ取引契約を締結するとともに、カバー取引として金融機関とデリバティブ取引契約を締結。その結果、資産側にデリバティブ債権とカバー取引先への差入保証金、負債側にデリバティブ債務と顧客からの受入保証金を計上。為替変動等の影響によるデリバティブ取引の時価変動等のため、デリバティブ債権・債務、差入・受入保証金が減少。流動負債については、未払法人税等が13.3億円減少。

4 前受金 59.8億 (△ 13.9億円)
 当四半期末の商品出資金は前年期末とほぼ同レベルであるものの、プロダクトミックスの変化により、前受金は減少。

5 長短借入金等 405.7億円 (+ 84.8億円)
 商品出資金、組成用不動産の取得原資として資金調達が増加。

6 純資産合計 148.4億円 (△ 13.2億円)
 親会社株主に帰属する四半期純利益45.4億円を計上する一方で、前年度期末配当23.1億円を実施。1Qに自己株式35.2億円を取得。

2016年9月期 業績予想



2016年9月期 業績予想 (2016年4月28日付)

(億円)	2016年9月期		2016年9月期	通期業績予想 進捗率
	上半期 (実績)	下半期 (予想)	通期予想 (4月28日修正)	
売上高	105.9	87.8	193.8	54.7%
タックス・リース・ アレンジメント事業	97.5	77.7	175.3	55.6%
その他	8.4	10.1	18.5	45.6%
営業利益	71.0	54.3	125.4	56.6%
経常利益	71.2	55.3	126.6	56.3%
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益	45.4	34.9	80.4	56.5%
オペレーティング・リース 事業組成金額	1,819.9	1,780.0	3,600.0	50.6%
出資金販売額	565.8	550.0	1,115.8	50.7%

オペレーティング・リース事業の案件組成が好調に推移し、出資金の販売については、投資家からの強い需要を背景に、出資金販売額が計画を上回る水準で推移した。

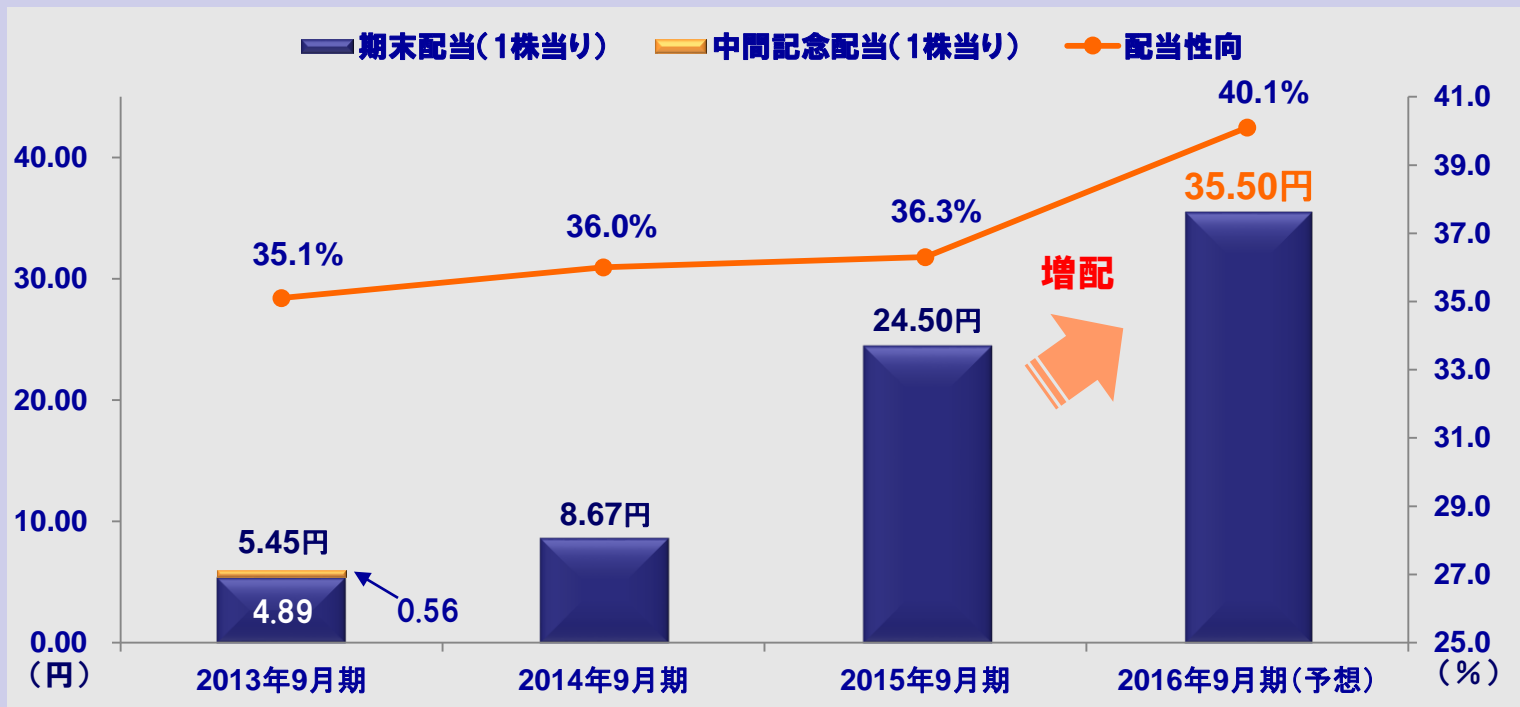
その他の事業については、進捗率が50%を切るものの、不動産、保険、証券、航空機投資管理サービス等の各事業が売上高の伸長に寄与している。

そのため、今後の見通しも踏まえ、2016年1月29日に公表した業績予想を、2016年4月28日付けで修正。

◆ 期末配当は1株当たり35.50円を予想。配当性向は40%に

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視し、安定した配当を継続して実施していくことを利益配分の基本方針とし、業績に応じた利益還元を実施すべく、目標連結配当性向を概ね30%以上に設定しているが、さらなる株主還元を目指す。

2016年9月期の業績予想に基づき、2016年9月期配当は35.50円を予想。



(注1) 株式分割に伴う影響を加味し、遡及調整を行った数値を記載。

(注2) 2013年9月期の中間配当は東証1部上場に関する記念配当。

中期的な経営戦略



▶ タックス・リース・アレンジメント事業の継続的強化 – 組成面 –

組成面

戦略

■ 組成サポートを行う海外関係会社との連携強化

- FPG Amentum Limited
- FPG Asset & Investment Management B.V. (FPG AIM)

■ 組成の拡大に対応した資金調達力の確保

下期

■ FPG Amentum と航空機案件の拡大 ⇒ 取締役も含めた幹部社員2名の派遣完了。一体化促進

- FPG AIMとその子会社による組成能力の向上
⇒ 4月より社員の短期派遣実施
ノウハウを共有し、シナジー最大化を図る

- 航空機案件拡大のため110億円の資金調達枠を確保
⇒ 案件組成の機会増加
- 資金調達力の確保と資金調達コスト最小化

▶ タックス・リース・アレンジメント事業の継続的強化 – 販売面 –

販売面

戦略

■ 販売ネットワークの拡充

■ 支店の人員充実

■ 顧客深耕

■ 新規出店の検討

下期

■ 年間400～500の新規会計事務所との提携
⇒ 上期提携実績 218事務所

■ 金融機関との関係深耕
⇒ 各種商品、サービスを提供

■ 営業担当者の増員

■ JOL顧客の様々なニーズを的確に捉え、他の商品・サービス提供により、取引深耕を目指す

■ 3支店の開設
札幌支店 6月初旬予定
金沢支店 6月初旬予定
岡山支店 9月上旬予定

▶ 取扱商品・サービスの拡大の取組

顧客(高収益な中小企業、個人富裕層)

販売ネットワーク(会計事務所、金融機関) 顧客ニーズを発掘し、紹介

F P G 顧客ニーズに合致するソリューションの提供

不動産関連

- ◆信託スキームの不動産小口運用商品
- ◆海外不動産商品検討

保険

- ◆保険仲立人として、顧客に最適な保険商品を提案
- ◆保険担当者を増員

M & A アドバイザー

- ◆企業オーナーの円滑な事業承継を支援
- ◆各支店で相談会を開催

F P G証券

- ◆為替デリバティブ商品の提供
- ◆各社のニーズを聞き、テーラーメイドで商品提供

F P G信託

- ◆事業承継・資産承継・資産運用を支援する商品の提供
- ◆M&A推進室との協働

▶ 不動産関連事業への更なる注力

2016年2月 不動産小口運用新商品の組成用不動産を取得。
Premium Asset Series 第1弾として4月に発売開始。

■ 物件概要

名称：FPG渋谷宮益ビル

所在地：渋谷区渋谷1-24-15（渋谷駅徒歩1分）

用途：店舗・事務所・倉庫

竣工：1995年

■ 商品のメリット

- ①当社が厳選した都心の一等地の優良不動産に1個1,000万円から投資できる。
 - ②物件の管理・運営、会計業務など面倒な手間がかからない。
 - ③資産運用と同時に相続または贈与財産として活用できる。
- ※従来の不動産特定共同事業法に基づく商品に比較して、取得にかかる経費も軽減。

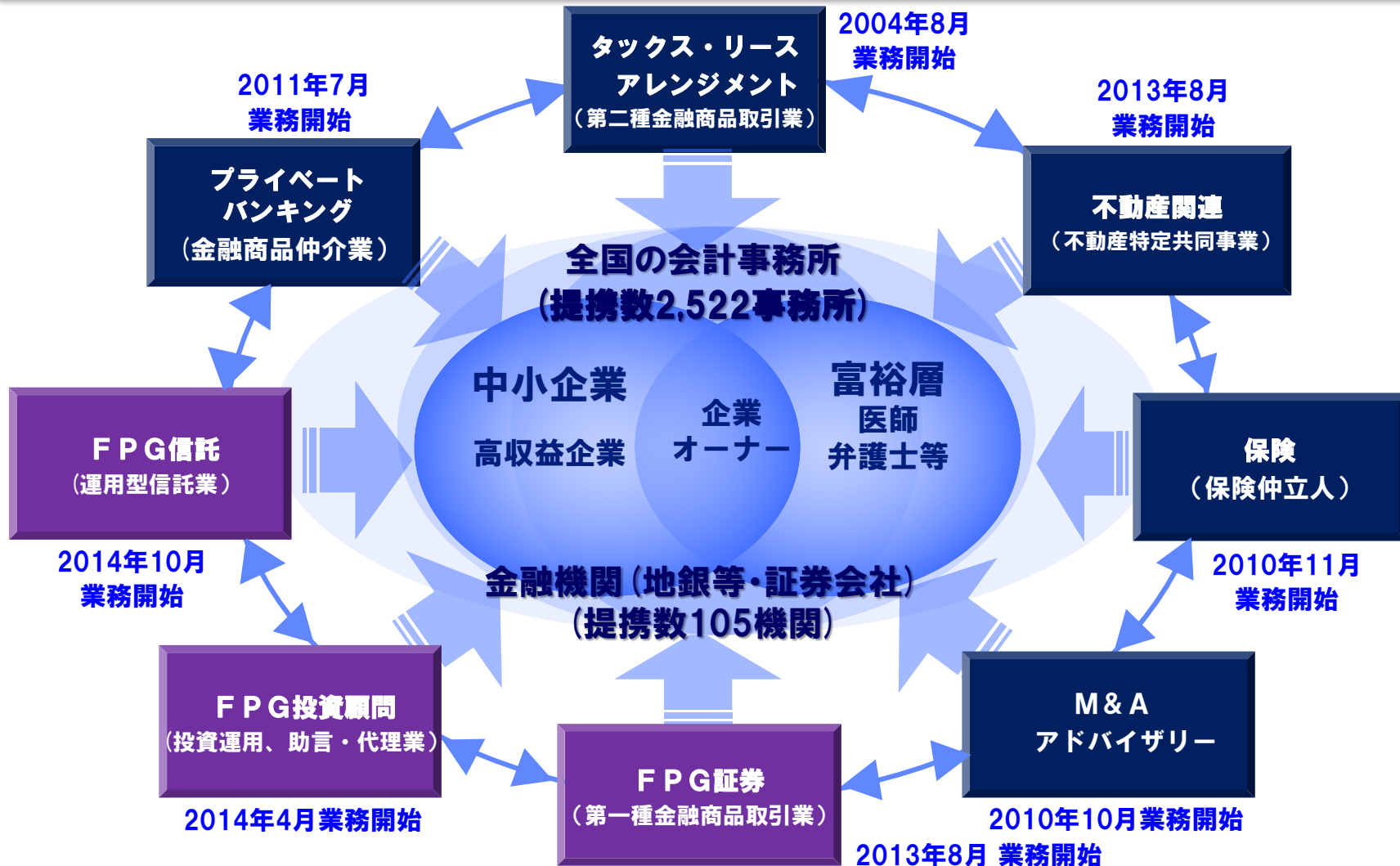
■ スキーム

- FPGグループの株式会社FPG信託の信託機能を活用し、信託受益権化して販売。
- ・当社が取得した不動産をFPG信託に信託し、それによって取得した416個の信託受益権を1個1,000万円で販売。
 - ・販売後はFPG信託が当該不動産を信託財産として一括管理。物件から生じる収益を投資家に分配。
 - ・一定期間経過後に当該不動産を売却してその代金を分配し、信託は終了する。



事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み

高収益なオーナー企業及び富裕層に対して、各種金融商品・サービスを提供するワンストップ型ファイナンシャルサービス業を目指す



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社FPG IR担当

TEL (03) 5288-5691

URL <http://www.fpg.jp>